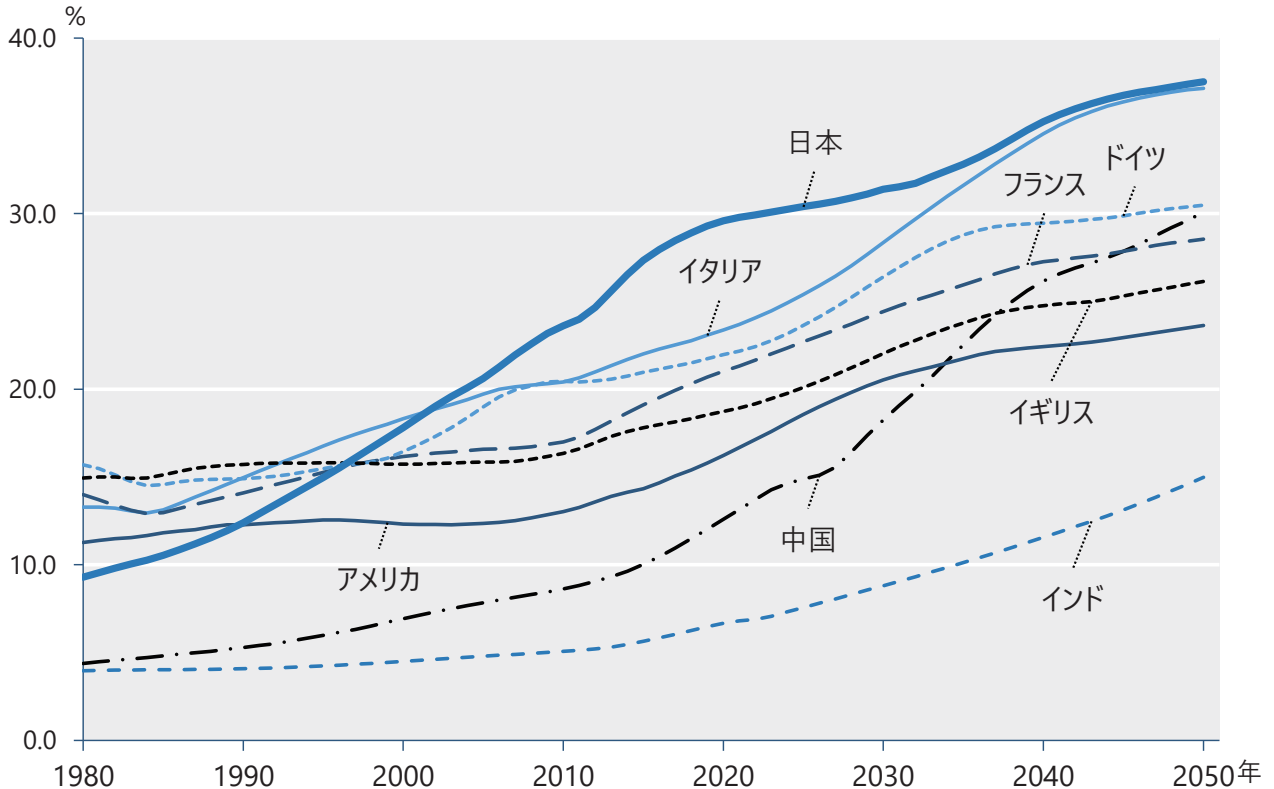


## 2-2 老年人口比率（65歳以上人口）



関連表 p.56 「第 2-5 表 老年人口（65歳以上人口）」

老年人口比率の2050年までの推移（2022年以降は予測値）をみると、各国とも上昇している

先進諸国は、世界の他の国々に比して相対的に高齢化が進展している状況にあるが、その進行の度合いは必ずしも一様ではなく、アメリカやイギリスにおける相対的に緩やかな変化に対して、イタリアでは高齢化が急速に進んでいる状況がうかがえる。同種の急速な変化は、中国についても予測されている。日本では、1980年の老年人口比率は9.3%と他の先進諸国に比して低水準にあったが、その後の急速に上昇して2030年には31.4%、2050年には37.5%に達する見通しである。

前出の『世界人口予測』によれば、65歳以上人口は数としても全人口に占める割合としても増加しており、2050年までに65歳以上人口は5歳未満人口の2倍以上、12歳未満人口と同程度になるとしている。